

国語科 学習指導案

茨木市立三島小学校

1. 日 時 令和6年度 9月13日(金) 第5時限(13:50~14:35)

2. 場 所 第5学年1組・2組・3組 各教室

3. 学 年・組 第5学年1組(34名)・2組(34名)・3組(34名)

4. 単 元 名 「文化を受けつぐ」ことについて考えよう(読むこと)
「和の文化を発信しよう」(書くこと)

5. 教 材 名 「和の文化を受けつぐー和菓子をさぐるー」(東京書籍)

6. 単元目標

- (1) 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2) イ
- (2) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1) ア
- (3) 資料を引用したり図表やグラフを用いたりして、書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1) エ
- (4) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1) ウ
- (5) 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1) カ
- (6) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

7. 言語活動 「和でWAを繋ごう!ーそしてバトンを受けつぐー」

8. 教 材 観

本教材は、伝統的な和の文化に関するものの中でも児童が想起しやすい和菓子を題材としたものであり、序論・本論・結論の構成が明確な文章である。また、和菓子を「歴史」「ほかの文化との関わり」「支える人」の三つの観点から説明しており、筆者の「文化を受けつぐ」ことについての考えが分かりやすい。また、資料の和菓子職人ビルさんのインタビュー記事では、文化を支える人である職人の生の声に触れることができ、文化を受けつぐための苦労、作り手としての願いを知ることで、より深く「文化

を受けつぐ」ことについて考えることができる。また、「和の文化を発信しよう」と合わせることで読むことと書くことがつながった複合単元になる。

9. 児童観

4年生から「私の問い」を持ちながら国語科の授業に取り組んできた。「問い」を立てる理由は、「生涯を通して学び続ける人になる」「教師がすべてを与えない、自ら考え悩む力」・「解決する力」を育むためということを繰り返し児童に伝えている。また、毎時間「つけたい力・そのために・言語活動」を確認して授業に臨んでいる。「インターネットは冒険だ」では、1年時の「いろいろなふね」の学習を振り返りながら頭括型・尾括型・双括型を確認した。そこから、「インターネットは冒険だ」(読む(CI)オ)を読み込み、3部構成に分け筆者の伝えたいこと、そのためにどんな事例が書かれているかを確認し要旨を考えた。

「地域のみ力を伝えよう」では、(書く(BI))を重点項目とし、進んで筋道の通った文章を作成することを目指した。文章全体の構成を考え、校区の魅力をまとめることができるようにチャートシートや構成メモを活用し、子どもたちにモデル文を複数提示しゴールを明確化した。それにより、文章の構成を意識しながら事実と考えを区別し、文章を書くことが出来た。それを同じ中学校区である庄栄小の5年生と交流した。交流することでお互いの校区の良さを知るだけでなく、文章の構成や書き表し方の工夫をすることができた。

本単元では、「情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。」「文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。」を重点的に指導する。これまでの学びで螺旋的に積み上げながら「構造と内容の把握」「精査・解釈」を丁寧に行い、「一人ひとりの読み、考えの形成」で子どもたちの主体的な学びを創出させたい。

10. 指導観

本単元では、「和でWAを繋ごう!ーそしてバトンを受けつぐー」という言語活動を設定する。これは本教材で学習をする中で、「和菓子の奥深さ」「和の文化を受けつぐのは誰なのか」をメッセージとして受け止めることができる。そして次は自分たちで和の文化を発信していくためにポイントとして①図表の効果 ②観点を明確にした書き方 ③情報と情報を重ねる をおさえたあと、この3つのポイントを活用した「自分たちの身近なお菓子」で魅力を伝える文を作成し、その後「自分が選んだ和菓子」の紹介カードを作成していく。これは教科書に例示されているモデルを参考に上段に和菓子のポスター、下段にこのポスターのポイントを伝える文章を作成する。

第1時から4時は「構造と把握の把握」「精査・解釈」を中心に内容の大体を把握しつつ、「考えの形成」に至る。第6時・第7時はそれぞれの前時までの学びをつなげながら、考えをまとめ、深める時間としたい。グループ単位で話し合うことで「私の問い」の解決につながると考える。児童が立てた問いを分類し、「つけたい力をつけるためにはどの問いを解決すればよいか」を班で考えて話し合い活動を行うことで「考えの形成」が確立されていくことを目指す。「和でWAを繋ごう!ーそしてバトンを受けつぐー」という言語活動を通して、目的に応じて情報を関係づけることができるようにしたい。

11. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2) イ	① 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ② 資料を引用したり図表やグラフを用いたりして、書き表し方を工夫している。B(1)エ ③ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。C(1)ウ ④ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ	・進んで情報を重ね合わせて読み、学習の見通しをもって、自分の考えを交流しようとしている。

12. 単元の指導と評価計画(全11時間 本時 6/11)

時	学習内容	学習評価 (◎記録に残す評価 ○指導に生かす評価)			
		知技	思判表	主体	評価規準・評価方法等
1	●「作品」に出会う【構造と内容の把握】 ●単元の見通しをもつ ・学習課題の確認(単元計画) ・活動モデル文の提示 ・言葉の学習(押さえておくべき言葉)	○			・行動観察 ・ノート
2	●「私の問い」を立てる【構造と内容の把握】 ・「私の問い」を立てる ・「和」に関するキーワードを集める			○	・行動観察 ・ノート
3	●「作品」を読み取る【精査・解釈】 ・学習内容をつかむ		○3		・行動観察 ・ノート
4	・筆者の論の進め方の工夫点、図や表がどのように文とつながっているのかを読み取る		○4		

5 6	●学んだことを活用して文章を作成する① 【考えの形成】 ・前時までに学んだことを活用し、「身近なお菓子」を紹介する文を作成	○			・行動観察 ・ノート
7 本時	●学んだことを活用して文章を作成する② 【考えの形成】 ・まとめたものを友だちと交流する。			◎	・進んで情報を重ね合わせて読み、学習の見通しをもって、自分の考えを交流しようとしているかの確認。【主】 (行動観察・WS)
8	●学んだことを活用して文章を完成する 【考えの形成】 ・前時までに友だちの意見を聞いて校正したものを完成させる。		◎3		目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしているのかの確認。 【思・判・表現③】
9	●「私の問い」を解決する 【考えの形成】 ・自分一人で解決→友だちと→クラス全体で ・最後は一人でまとめる		◎4	◎	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げているのか確認。 【思・判・表④】 自分の考えと友だちの考えを比較して、感想をもっているかの確認。 【主】 (ノート・発言・国語の記録)
9 10	●学んだことをまとめる ・「和でWAを繋ごう!ーそしてバトンを受けつぐー」として「自分で選んだ和菓子のポスターを作成 ・どの観点で書くのか、どの情報とどの情報を重ねるのか思考しながらとりくむ ・オクリンク 【考えの形成】	◎	○1 ○2		目的に応じて情報を関係づけているかの確認。 【知・技】 (ノート・発言・国語の記録)
11	●和菓子ポスターを完成させる ・前時までの学びをいかして 「どの観点で書いているのか明確になって		◎1 ◎2		①目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集め

	いるのか」 「ポスターの中で伝えたいことと、伝えたい観点がリンクしているのか」 「友だちのアドバイスを受け、それをいかすことができているのか」 【考えの形成・共有】				た材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしているかの確認。【【思・判・表①】（行動観察・WS） ② 資料を引用したり図表やグラフを用いたりして、書き表し方を工夫しているかの確認。【思・判・表②】（行動観察・WS・成果物）
	●単元テスト ・書いたまとめは冊子としてクラスで交流				

学習課題（単元でつけたい力）

- ・情報と情報を重ねて読む力をつけます。
- ・そのために、その情報がどんな観点から書かれているのか、図や表の効果はどうかを考えます。
- ・そして「和でWAを繋ごう!」として「文化を受けつぐ」ことを意識して発信しよう。

【私の問い】一例 説明文の問いを立てることにむずかしさを感じるものが予想されるので一例をあげて考える

・イラストがあるとなしではどれくらい読み手に伝わる情報はちがってくるのか ・資料（イラスト・表など）はどれくらい重要か ・和の文化を受けつぐとはどういう意味なのか ・この題名と本文は一致しているのかしていないのか ・⑯段落と⑰段落はどちらが大切なのか ・最後の資料は必要か不要か ・最後の資料があることでどんな効果があるのか ・本論はいくつにわかれているのか ・この説明文は何型か（頭括・双括・尾括）

13. 本時の展開

(1) 本時の目標

・考えた文章をもとに、学習の見通しをもって、自分の考えを交流しようとする。

(2) 本時の評価規準

・考えた文章をもとに、学習の見通しをもって、自分の考えを交流しようとしている。【主】

(3) 本時の判断基準

おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)への支援
・考えた文章をもとに、学習の見通しをもって、粘り強く自分の考えを伝え、交流しようとしている。【主】	・自分の考えをうまく伝えられない児童には、あらかじめ書いておいた文章を見てもらい、友だちから感想をもらい、それについての返答を考えるように促す。【主】

4) 本時の学習過程

(○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価)

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
5	① 前時までの学習をふりかえる。	・各自が国語の記録をもとにふりかえり、今日の学びを確認する。	
	ねらい（観点・主張・図表の効果）にそって書いているのか確認しよう		
5	②前時までに書き上げた「お菓子の紹介文」を一人で確認。 ・どの観点で書いたのか ・筆者として伝えたいことが明確に書かれているのか ・複数の情報、イラスト、写真等と本文がリンクしているのか	・交流の際、どこを友だちと確認したいのか、聞きたい点を明らかにしておく	
15	③班で交流 ・なぜその観点で書いたのか ・伝えたいことと本文が一致しているのか	・新たな気づきが見られた児童を把握しておく。	○主体的に学習に取り組む態度 (行動観察・ワークシート・国語の記録)
10	④校正を行う ・友だちからのアドバイスをメモや箇条書きにして次時にすぐに取り組めるようにしておく		
5	⑤全体で交流 ・どのような話し合いができたのか	・新たな気づきが見られた児童に、どのような交流があったのかを発表するように促す。	
5	⑥国語の記録を書く	・今日、話し合った内容、次回はどのように学ぶのか記録しておく。	

「和の文化を受けつべ」「和の文化を受けつべ」 —和菓子をつくる—

【つきたい力】

・文章を読んで、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたら、論の進め方について考えたりする力をつけます。

【そのため】

・情報と情報をくらべ、違いや同じ点を見つけ、筆者がどんなことを伝えようとしているのか考えます。

【言語活動】

・いろんな「和」を見つけ、自分がおすすめる和の文化を発信しよう！題して「和で輪をつなこう！」

⑪		○評価テスト
⑩ ⑨ ⑧	/ / /	○自分の紹介したい「和の文化」をまとめる ・教材で学んだ書き表し方を使って ・どんな工夫で だれに伝えたいのか ・オクリンク
⑦ ⑥	/ /	○私の問いを解決する ・一人で ・友だちと
⑤ ④ ③	/ / /	○内容の把握 ・文章構成（何型で書かれているのか） ・本論はどのように書かれているのか（工夫） ・図、表などどのような効果があるのか
②	/	○私の問いを立てる ・つきたい力をつけるために
①	/	○文章と出会う ・読む ・学習の計画 ・モデル文 ・だいたいの内容をつかむ ・みんなに聞きたいこと

毎時のふりかえりで「私の問い」について
自分なりの解決を書く

一、私の問い

二、誰と解決したか

三、問いの解決

四、興味のある和を見つけよう(○を付けよう)

・和菓子

・和菓子の歴史

・和菓子の種類

・和菓子の作り方

・和菓子の文化を支える人

・ビルさんの思い

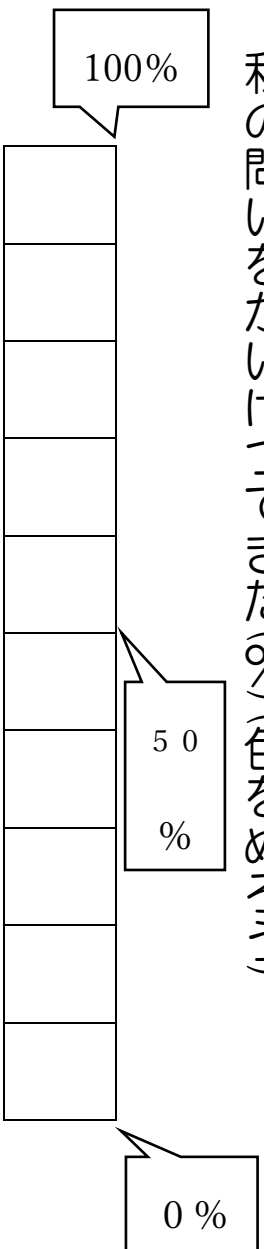
・その他()

五、友だちの発言でなるほどと思ったこと

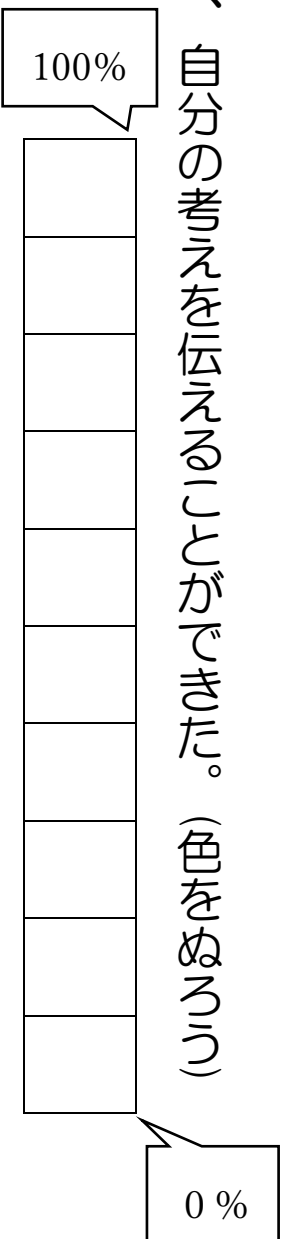
一、私の問い

二、だれとかいけつしたか

三、私の問いをかいけつできた(%) (色をぬろう)



四、自分の考えを伝えることができた。 (色をぬろう)



五、友だちさんの考えになっとくできた、できなかった。(○を付けよう)
(なっとくできた・なっとくできなかった)

五、興味のある和を見つけよう(○を付けよう)

- | | |
|--------------|----------|
| ・和菓子 | ・和菓子の歴史 |
| ・和菓子の種類 | ・和菓子の作り方 |
| ・和菓子の文化を支える人 | ・ビルさんの思い |
| ・その他() | |

六、なっとくできた友だちの考え

()さんは、どんな話をしていましたか。